

あた 能わざるに非ず、為さざるなり
非不能、不為也〔孟子、梁惠王上〕

できないのではなく、しようしないのである。能力はあるが、努力して実行しようとする意志力が足りないことをいう。

研究室訪問



介護福祉学科 教授
梓川

東大阪市に生まれ、西宮市で育つ。小学生ではもっぱら外遊びの生活、中学から大学まで陸上競技に専念。大学では国際経営学を学び、パナソニック(株)に就職、海外業務本部に配属、財務企画を担当。30歳で脳梗塞による障害をもち、患者会活動からNPO法人や社会福祉法人を設立する。その後、大学院で社会福祉学を研究し、大学教員になる。趣味は、登山、キャンプ、スキー、フィッシング、四駆車オフ走行など。四駆車のことは社会福祉学よりもかなり専門と自負。プライベートでは、愛車ハチマルを30年間転がし、ランクルとキャンピングカーのチームをつくり、究極のオフライフを家族や仲間とエンジョイする。

――読書の醍醐味は？
「いつでも、どこでも、私の都合に合わせて、著名な作者が会ってくれる」「歳を重ねてきた私自身の変容や成長を教えてくれる」「生きることにについて教えてくれる」

――人生に影響を与えた本があればお教え願います。
E キューブラー・ロス、川口正吉訳(1971)『死ぬ瞬間』(読売新聞社)、V. E. フランク、霜山徳爾訳(1996)『夜と霧』(みすず書房)。

あるとき、腫瘍ができて、人生を覚悟していた入院中に読み込んでいた本です。
死から生の意味を教えてもらったのです。いつの間にか、心が穏やかになっていきました。本は、偉大だと思います。

――座右の銘をお教えください。
「すべての人生に意味がある」「苦悩にも意味がある」「それでも、人生にイエスという(フランク)」

――学生にぜひ読んでほしい本は？
フランツ・カフカ、中井正文訳(1996)『変身』(角川文庫)。

読み始めから、よくわからない内容の奇抜な本です。なんで、この本をお薦めするのかも、わからなくなると思いますが(笑)。ここが、私のねらいです。想像力を膨らませて、ある人の、ある場面の、多様な人生の物語を思い浮かべながら、読み進めてください。「現代社会の何にあたるのか?」「この家族は、現代社会にもあるか?」「主人公の会社や上司はどういう存在?」などです。本学で、対人援助を学ぶ学生の皆さんには、ぜひ、読んでほしい本です。

――読書について、学生、特に新入生へのアドバイスをお願いします。
読書は、人生を豊かにしてくれます。いろいろな考え方や生き方を、作者あるいは登場人物が教えてくれたり、一緒に考えあつたりすることができ、手にとって読んでみることで、初めから順に全てを読もうとしなくてもいいと思います。読みたいと思う本に入り込んでいくのがいいと思います。読書は、受け身では読むことができません。ここが、テレビやYouTubeとは違うところです。というのも、自分で読み進めることによって、新しい世界や物語が広がっていきます。このような自分の姿からも、新しい自分を見つけていくことができます。



読書のおもしろいところとして、何度も本を読んでいると、読む年齢によつて、感じ方や汲みとり方が変わってきます。ちなみに、私が小学3年生で初めて手にした『路傍の石』は、今でも読んでいます。ということは、約50年間も読み続けていることになりました。私も年齢を重ねることに、私の感性も変容していくのです。主人公の吾一少年からのメッセージが多様に変化して、毎回、彼と新しい会話ができるのです。素敵な本、作者、登場人物との出会いは、あなたの人生においても貴重なものです。これから生きていく糧になります。ぜひ、一冊の本を手に取り、素敵な出会いをして、あなたらしい世界を繰り広げながら、ゆつくりと味わいましょう。

――記憶の中、最初に自分で買った本は何でしたか?
『路傍の石』(山本有三)です。小学生のときですが、はつきりと覚えていません。
――最近買った本は?
木村利人(2000)『自分のいのちは自分で決める』(集英社)です。私の考えとどう違うかを楽しみながら、読んでいます。
――好きなジャンルは?
ほんとは、文学(純文学)あるいは人間学の領域ですが、大学では、社会福祉の教員ですので、ここでは、やはり、福祉や医療としておきます。(笑)
――本を買う時、ネット書店と本屋と、どちらをより多くご利用でしょうか?
今までは、断然、本屋さんでした。手にとつて、目次や章立てを確認してから購入する、慎重派のタイプでした。けれども、最近は、ほとんど、ネットです。目的の本を探していると、関連

する本まで紹介してくれますので、ほとんど、好奇心は膨らんでいき、多数の選択肢を手にすることができると、時間と労力をあまり使わなくていいからです。
――いま、お手元に読んでいる本は?
複数の本を並行して読むタイプなので、一冊ではありませんが、アサーションライマン、江口重幸他訳(1996)『病いの語り』(誠信書房)、エリック・フロム、鈴木晶訳(1999)『愛するということ』(紀伊國屋書店)などです。これらの本を読むのは、初めてではなく、3回目くらいです。
――時々読み直す本はあるでしょうか?
J.S.ミル、塩尻公明他訳(1997)『自由論』(岩波文庫)、中根千枝(1967)『タテ社会の人間関係』(講談社現代新書)、中川米造(1994)『医療のタリナック』(新曜社)などです。ついつい、今の研究や実践の本ばかりになります。

上海日本近代科学図書館

図書館長 趙夢雲

日本人ゆかりの旧跡を訪ね、上海市中心部福州路と四川路の交差点に聳え立ち、外観はいかにも古風で歴史を感じさせるビルの前に来ている。四川路一四九号、かつて上海日本近代科学図書館 (Modern Science Library of Japan) が置かれた場所であった。

上海日本近代科学図書館は、一九三六年春に外務省が打ち出した「対支文化事業」の一環として生まれたもので、同年九月から開館準備に着手した。一九三六年十月一日付の「上海日日新聞」によると、「日本に於ける科学の発達及び之が結果たる産業発展の状況を知らしむるに足る図書を支那人士の閲覧に供すると共に日本の事情殊に商工業に関する知識を供給すること」を目的に、紡績同業会総務船津辰一郎、東亜同文書院長大内暢三、上海自然科学研究所長新城新蔵及び居留民団長甘濃益三郎ら上海邦人社会の著名人が連名で外務大臣有田八郎宛に図書館の「設置助成建議書」を提出したという。また、時局を意識したものか、「上海日本近代科学図書館概要」では、「中日間に於て學術的には何等の関門、何等の境界も存在しない。學術知識は、何れの国、何れの

人に対しても好悪の差なく、求める人に与へらるべきである」と訴えている。

図書館は同年十二月二十四日から開館したが、書籍の整理が間に合わず、新聞と定期刊行物の閲覧室を先行公開し、図書館全体の一般公開は翌一九三七年三月三十日を待たなければならなかった。開館時間は土日も含め午前八時より午後五時までで、開設時の蔵書は一万三千七百八十八冊、新聞二十七種(内訳日文十三種、中文十二種、英文二種)、中日・英文雑誌及び各種定期刊行彙報三百二十二種、パンフレット四百五十種を数えた。収書方針は哲学・歴史科学・社会科学・自然科学・工業・産業・語学・文学など近代人の精神、物質生活に必需のものとし、館名の示す通り、経済と産業関係に重点を置いた。全面開館を報じる上海地元邦字新聞の記事では、図書館の今後の事業計画にも触れ、蔵書を年々数千冊増やし、将来は中文併記の雑誌を発行し、講演会の開催なども行うと予告したと同時に中国人の多数利用を期待した。

書籍の貸出しも始まったため、全面開館した四月の入館者は前月より五百名余りの増加を見せ、一千九百八十六名

をカウントした。利用者の八割は地元市民で、職業別にすれば学生が断然多く、好調な滑り出しであった。しかし、程なく勃発した日中戦争は上海日本近代科学図書館にもその影を落とす。盧溝橋の戦火は上海に飛び火し、一九三七年八月の第二次上海事変で図書館は休館に追い込まれ、日本軍が租界を除いた上海全域を掌中に収めた後、翌年の六月に復館を果たした。

再開後の上海日本近代科学図書館は転換を迎え、中国人利用者向けの新着図書目録「新到書籍快報」や館報「江風」を発行し、夜間街頭文庫と映画上映会、近代日本文学展覧会を催して広報活動を積極的に展開した。また利用者宅への配本と読書倶楽部の設立にもとりかかり、利用者の増加に苦心を重ねる。その甲斐もあって一九四〇年度の利用者は九万五千七百人を超え、閲覧室も利用者の増加に合わせて拡充され、従来の定員を倍増した。

中国人読者の図書館利用が綿密に分析されていた。例えば一九三八年度の「事業成績報告書」には「中国人の図書利用」という項目があり、職業別人員は商業、学生、生徒、文筆芸術家、教育宗教の順となっており、利用した図書は語学が首位に立ち、自然科学、社会科学がそれに続き、文学は僅少だったと述べられている。

上海日本近代科学図書館は、図書資料の受贈も業務の一つとして取り組んでいた。官庁刊行物やその他特殊出版

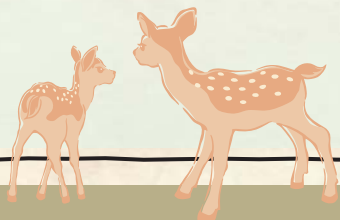
物の寄贈依頼に常に注意を払い、個人の寄贈も受け入れた。蔵書家としても知られた、汪兆銘政権の内政部長陳群が、上海日本近代科学図書館に蔵書二万冊を寄贈したと一九四一年九月十一日の「大陸新報」が報じている。

一九四一年より図書館の管轄は興亜院に帰属され、国策宣伝機関の傾向が次第に強まってきた。館名も「中国人利用者への安全を期する」という理由でこれまで使われてきた「上海近代科学図書館」から「在上海日本近代科学図書館」と改められて、開館時間も日本時間に合わせられた。開館当時に掲げた「相互理解」という理念はもはや実現不可能なものとなっていた。

戦後、上海日本近代科学図書館は国民政府に接収され、その蔵書は東亜同文書院の蔵書と共に南京の中央図書館(現南京図書館)に引き継がれ、今日の南京図書館が所蔵する戦前期日本語書籍の中核を成している。



館内の様子(カウンターと目録カードボックス)



2020年度 学生Web選書

2020年11月9日(月)～11月30日(月)の間、学生Web選書を開催しました。これまでは、ジュンク堂書店(難波)に行き選書をしていましたが、コロナ禍でも安全に開催できるよう検討した結果、今回は書店に行くことを断念し、Webサイトを利用し選書することにしました。学生11人の参加があり、各々パソコンやスマホを使い読みたい本を選びました。今回選ばれた図書(52冊)は、図書館1階閲覧室の「学生選書コーナー」に並んでいます。貸し出しもできますので皆さんぜひご利用ください。



おすすめ
 こども学科 3年 神蘭さん
『あなたの知らないあなたの強み 宇宙兄弟とFFS理論が教えてくれる』
 宇宙兄弟が好きで、その考え方に影響を受けました。就職活動に活用したいと思っています。



おすすめ
 実践食物学科 2年 木村さん
『お医者さんが薦める免疫力をあげるレシピ』
『免疫力を上げる! 発酵食レシピ』
『簡単! 免疫力アップドリンク 104 RECIPE』
 免疫力アップのレシピが載っている本3冊を選びました! おすすめです。コロナ禍ということもあったので、実践食物学科らしく「食」の観点からコロナに対する予防の意味も込めて選びました。



おすすめ
 実践食物学科 2年 三木さん
『ひと目でわかる食べ物のしくみと はたらき図鑑』
 栄養士の学科なので、詳しく知れると思い選びました。イラストも描いているので読みやすいと思いました。



おすすめ
 実践食物学科 2年 萬谷さん
『共感SNS 丸く尖る発信で仕事を創る』
 これからはSNSが主流になるので、将来に向けて扱い方を知っておきたいと思いました。



おすすめ
 実践食物学科 2年 中島さん(右)
『その調理、9割の栄養捨ててます! プロも絶対体が変わる食べ方のコツ』
『その調理、まだまだ9割の栄養捨ててます! 食べ方で体が変わる!』
 授業で調理方法によって栄養素の量が変わってしまうことを知ったので、どのように生かす調理ができるのかを具体的に知りたいと思いました。

おすすめ
 こども学科 3年 王さん
『子どもばやしのお正月』
『お正月さんありがとう』
 絵本を通して、子どもにお正月の行事や由来などを伝えることができます。

参加した感想

- ・ 選書を行なうこと自体が初めての経験だったので、とても新鮮な気持ちです。私の選んだ本が誰かの役に立てたらと思います。
- ・ 読んでみたかった本を選ぶことができ良かった。
- ・ 自分では高価で手が出せなかった本を買うことができたので良かった。
- ・ 読んでみたい本が増えた。読みたい本がたくさん選べて良かった。
- ・ 卒論の研究にとっても役に立った。

教員近著

携わった
本書の教員が
書籍を紹介します。



(請求記号 498.55/ O95)

山下絵美 教授 共著
『**応用栄養学 第3版**』
適切な食生活を実践するための基礎』
山下絵美(奥田あかり、上山恵子、尾関清子による共著)
化学同人 2020年3月31日 2,200円+税
応用栄養学をはじめて学ぶ栄養士養成校の学生のために執筆された一冊。ライフステージごとの特徴と栄養課題について、わかりやすい表現と親しみやすいイラストで解説している。「日本人の食事摂取基準(2020年版)」に準拠した内容であり、改訂後のポイントについても分かりやすく示した。章末の練習問題で、理解度を確かめることで効率よく学習できる。

野口代助教 共著
『よくわかる!』
行動分析による認知症ケア』
野口代(山中克夫による共著)
中央法規出版 2019年8月30日
2,200円+税
認知症のいわゆる「問題行動」である認知症の行動・心理症状(BPSD)は、本人にとっても、介護者にとっても非常に負担が大きい。BPSDの治療ガイドラインではまず非薬物的アプローチを優先的に行い、効果が得られない場合に薬物療法を行うということになっている。本書は、その非薬物的アプローチのなかでも特に有効性が国際的に高く評価されている行動分析に基づくアプローチについて解説した入門書である。



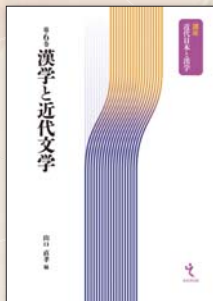
(請求記号 493.758/ N93)

吉田唯講師 単著
『**神仏習合の手法**』
— 中世神話から近世神話へ —
吉田唯(著)
新典社 2020年2月22日
1,210円+税
両部神道を中心とした神仏習合思想や浄土真宗における神祇許容の問題、さらにそれらの流れを受けて近世に創作された神代文字で書かれたホツマ文獻を考察することで、中世から近世における神仏習合思想の一端を究明したものである。



(請求記号 162.1/ Y86)

渡邊ルリ教授 共著
『**講座 近代日本と漢学**』
第6巻 漢学と近代文学』
渡邊ルリ(山口直孝編、14人による共著)
担当…「中島敦における漢学—典拠受容と創作」
戎光祥出版 2020年4月20日
3,000円+税



(請求記号 121.6/ Ka55)

日本近代文学は「漢学」をいかに受容し作品を生み出したか。本書は、幸田露伴・森鷗外・依田学海・正岡子規・田山花袋・永井荷風・武者小路実篤・芥川龍之介・佐藤春夫・中島敦・石川淳・大西巨人の創作における漢学継承の意味を問う論文12編と、「研究の窓」3編で構成される。「漢学」の視座から文学史を照らし出す作品研究の書である。

データでみる図書館

2020年12月末現在のデータ

図書(和書) 76,762冊
図書(洋書) 6,638冊
視聴覚資料 3,724タイトル
雑誌 621タイトル

2020年1月～12月の利用数

貸出冊数 861冊
入館者数 2,673人

窓

第26号

2021年4月1日発行

編集・発行

東大阪大学
東大阪大学短期大学部
附属図書館

大阪府東大阪市西堤学園町3-1-1
TEL 06-6782-1283
FAX 06-6782-1283
http://www.higasiosaka.ac.jp/~library/